

# ボーイスカウト江戸川第1団

## よくある質問 Q&A

2023年4月現在

### Q1. そもそも、ボーイスカウトって何？

A1. 自立心のある青少年の育成を目的とした、世界的な社会教育運動の一つです。少年たちの好奇心や探究心にこたえる活動を通して、心身ともにバランスの取れた人材の育成を目指しております。

(ボーイスカウト日本連盟ホームページより抜粋)

### Q2. スカウト活動とは？

A2. 以下のような3つの「ちかい」を守り、8つの「おきて」を実践することです。

「ちかい」 私は、名誉にかけて、次の3条の実行をちかいます。

1. 神（仏）と国とに誠を尽くし、おきてを守ります。
1. いつも、他の人々をたすけます。
1. からだを強くし、心をすこやかに、徳を養います。

「おきて」

1. スカウトは誠実である。
2. スカウトは友情にあつい。
3. スカウトは礼儀正しい。
4. スカウトは親切である。
5. スカウトは快活である。
6. スカウトは質素である。
7. スカウトは勇敢である。
8. スカウトは感謝の心をもつ。

これらの「ちかい」と「おきて」を自ら実践できることが、ボーイスカウトの在るべき姿です。

### Q3. 具体的に、どんな活動をしているの？

A3. 野外活動を中心に、キャンプやハイキング、工作や料理、歌やゲームなど、様々な体験を通して、仲間と一緒に楽しみながらいろいろなことを身に付けます。カブ隊以上では、手旗やロープワークの練習、ボーイ隊以上では、キャンプ生活の基本や救急法なども学びます。

### Q4. 実生活において、成長を感じることは？

A4. 2018年度の母親世代タスクチーム報告書（母親の本音を探る）において、以下のような具体例が掲載されていました。

- ① 自分で考え、自分の意見を、自分の言葉で発言できるようになった。
- ② 他者のことを考え、他者に対する思いやりの心が育った。
- ③ 組長・次長の経験を通して、責任感を持って物事に取り組むようになった。
- ④ 進級面接を積み重ねることによって、受験時の面接に物怖じすることなく臨めた。
- ⑤ 電話の連絡網を通して、電話の受答えやメモを取るのが上手にできるようになった。

Q5. **将来、何の役に立つの？**

A5. 本人が大人になった時に実感できます。ボーイスカウトのモットーは、「そなえよ、つねに」。常に、万全に準備しておくことです。これは、道具や備品の準備だけでなく、様々な体験を積み重ねることで、慌てずに落ち着いて行動できる冷静さ、どんなトラブルにも臨機応変に対応できる柔軟性など、メンタル面での準備の大切さも意味しています。この力は、スカウト達（子供たち）が社会人になった時、必ず役に立つことと思います。

Q6. **団って何？**

A6. 地域の活動母体の単位です。 団の中には、年代別に分かれた5つの部門（ビーバー隊・カブ隊・ボーイ隊・ベンチャー隊・ローバー隊）があります。また、現在、江戸川区では、江戸川第1団・第2団・第3団・第5団・第7団が活動しており、お近くの複数の団を見学・体験することも可能です。

Q7. **何歳から活動できるの？**

A7. 正式入隊（入団）は、小学1年生の4月からになりますが、小学生未満のお子様も、見習いスカウトとして活動に参加することができます。

Q8. **女子も入団できるの？**

A8. 団にもよりますが、私たち江戸川第1団は入団できます！ビーバー隊からローバー隊まで、たくさんの女子スカウトが在籍し、日々活発に活動しております。女性指導者も多数おりますので、ご安心下さい。

Q9. **入団の時期は決まっているの？**

A9. 4月から新年度として活動を開始しますが、入団はいつでも可能です。

Q10. **費用はどれくらいかかるの？**

A10. 見学・体験時の費用はかかりませんが、入団後は以下の通りです。

- ・入団金 ￥3,000（入団時のみ）
- ・登録費 ￥8,200（毎年）
- ・育成会費 ￥3,000（毎月）
- ・その他、必要に応じて、制服代や備品代など。詳細は、**見学・入隊のご案内**のページにて、ご確認ください。

Q11. **服装は？**

A11. 各隊それぞれに制服があります。制服を着用して活動することで、ボーイスカウトとしての自覚や責任を持ち、胸を張って活動することができます。基本的に、制服はスカウトショップ等で購入していただきますので、詳細は、**見学・入隊のご案内**のページにて、ご確認ください。

## Q12.指導者はどんな人？

A12.ボーイスカウト専門の講習や研修を受けた、子供たちを温かく見守るボランティアの大人たちです。江戸川第1団では、スカウトの保護者や団で育ったスカウト経験者が主な指導者です。また、子供たちと一緒に活動を楽しむ中で、興味を持ち、指導者になった方もおります。各隊それぞれに、男性・女性の指導者が在籍しており、仕事と家庭の合間を見ながら活動しております。

## Q13.活動は危なくないの？

A13.指導者は、「安全が何より優先」と教育を受けております。安全とは、①安全を確保すること、②安全な行動ができるように教育することの2種類があり、この2つを実践しております。また、指導者は、ケガをした時の救急処置の訓練も受けており、ボーイ隊では、スカウト自身（子供たち）が救急法を学びます。但し、あくまで救急処置なので、治療は医療機関へ移行します。

## Q14.保護者はどうすればいいの？

A14.ボーイスカウトに限ったことではありませんが、保護者の皆様の協力や支えがあってこそ、スカウトたち（子供たち）は成長できると思います。まずは、ボーイスカウト活動をよく理解していただくことが、その第一歩！ビーバー隊では、保護者の皆様も一緒に活動を楽しみ、お子様の頑張っている姿や良かったところを、各家庭でたくさん褒めてあげてください。お子様の自信につながります。カブ隊では、活動場所までの送り迎えをしていただく程度になりますが、活動内容によっては保護者の皆様に協力をお願いしております。ボーイ隊以上になると、スカウトたち（子供たち）だけでいろいろなことができるようになりますが、各家庭でのサポートはまだ必要です。保護者の皆様が温かく見守っていただくことで、スカウト達（子供たちは）は思い切っているいろいろなことに挑戦できると考えております。また、育成会という学校のPTAのような会があり、日頃から団やスカウトたちを支えてくれています。こちらでも、保護者の皆様の協力をいただいておりますので、どうぞ宜しくお願いします。詳細は、**育成会**についてのページを、ご確認ください。

## Q15.キャンプって本当に楽しいの？

A15.もちろんです！準備しているときから、ワクワクします。自然の中でのキャンプは、多くのことを学び、身に付け、成長できる場所です。雨天時のテント設営、冷たい水での皿洗い、強風の中での火起こしなど、時には困難な場面に直面するかもしれません。でも、仲間と協力すれば必ず乗り越えられます。そして、満天の星空の下、みんなと歌ったり踊ったり、ゲームをしたり語り合ったり…。こんな風に仲間と一緒に過ごす時間は、きっとかけがえのないもの。「なんかキャンプっていいよねえ。キャンプでいろいろなことを経験していると、学校でのちょっとしたトラブルやケンカがどんなにくだらないうことかってわかるんだよねえ。」と、キャンプから帰宅したあるスカウトがつぶやいていたとか。是非、体験させてほしいと思います。